

町 長	<p>ただいまの出席委員は4名であり、会議は成立いたします。</p> <p>ただいまから、平成31年第1回雨竜町総合教育会議を開会いたします。</p> <p>日程第1「前回会議録の承認」についてですが、出席委員の署名をいただいておりますので、承認済みといたします。</p> <p>日程第2 報告第1号「平成31年度雨竜町一般会計予算概要について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明を求めます。総務課長。</p>
逆 井 総務課長	<p>(議案説明)</p>
瀧山企画 財政担当 主 幹	<p>(議案説明)</p>
町 長	<p>(補足説明)</p>
教育 長	<p>説明が終わりましたが、これより質疑に入ります。</p> <p>報告第1号「平成31年度雨竜町一般会計予算概要について」に対する質問があれば、受けます。</p>
教育 長	<p>総務省からの指導でふるさと納税の返礼品を3割にしたことによる納税額の伸び率はだいたいぶん違うものか。</p>
瀧山企画 財政担当 主 幹	<p>総務省から昨年11月までに3割になっていないところにペナルティを科すという強い指導あったが、納税額が落ちたかと言うと、そのことが報道されたこと、また返礼品を扱っているサイトが危機感によりどんどん広告を拡大したなど、逆に納税額が増えた。年末の税制対策の駆け込み需要もあり、件数は落ちているが、金額は維持している。</p>
町 長	<p>他にありませんか。</p>
浦本委員	<p>高齢者のシルバータクシーの事業について、1年間の利用率は。</p>
逆 井 総務課長	<p>対象者に対してチケットの発行者は約半分ほど。実際の利用はさらに下がって3割程度であると思われる。</p>
町 長	<p>利用については使う方と使わない方、極端だと思われる。午前中の利用が多いようだ。主に市街地の人で病院へ行く利用が多い。平成31年度予算においては利用の条件を拡充した。議会要望もあり、平成30年に町外を通院限定にしていたが、今まではチケット5枚利用が限度であったが、平成31年度から7枚まで、通院・調剤に限るが利用可能とする。実績を見て拡充した。町外利用、月2回の条件も撤廃する。</p>
浦本委員	<p>高齢者で免許返納してタクシー利用している人もいると聞いていたので、どれくらいの利用があるのかと思い聞いた。</p>
町 長	<p>他にありませんか。</p> <p>先ほどの質問のふるさと納税については毎回議会において行政報告しているが、月2回集計している。平成30年度は2月15日現在で1億6千万円の収入がある。昨年1年間で1億3千万円であったので、昨年を上回っている。報道で返礼品の率を下げて、かなり収入が減っているという自治体多いが、本町においてはそれほど減っていない。</p>

沖館委員	自治体によっては総務省に反発しているところもあるが、国の策で始まったことをあまり国が言い過ぎるとどうなのか。町のPRであるので縛りはどうなのか。
町長	総務省のペナルティ、納税者にかけるということであった。税の控除にならないということで、町にペナルティがあるのであれば総務省の指導に反発するが、納税される方にペナルティがあるとなると従わずにはいられない。なので、ほとんど自治体が総務省の指導に従った。
浦本委員	もともと雨竜町にいた方が雨竜町を離れてふるさと創生資金として納税してくれてると思っていたが、意外に雨竜町に縁のない人がネットをみて納税してくれている。雨竜町に縁のない方はどれくらいの割合か。
瀧山企画 財政担当 主幹	ほとんどの方である。99%くらい。
町長	納税者のコメント見ると、もちろん雨竜町出身という方もいるが、ほとんど町外の人で、ふるさと納税PRのサイト検索して雨竜町を知った人、興味を持ってくれた人であり、返礼品にお米を希望する人も多く、お米が美味しいとコメントをくれて、リピーターもいる。
沖館委員	ラジオ等のPRなどの影響大きい。
町長	他にありませんか。
逆井 総務課長	今後の日程ですが、平成31年度予算案については、3月4日からの第1回雨竜町定例議会において提案し、予算審査特別委員会で審議されてその後議決される予定である。その前段で3月1日金曜日に報道発表を行うこととしている。
町長	他にありませんか。
全委員	(なしの声あり)
町長	なければ、これをもって質疑を終了いたします。
全委員	報告第1号「平成31年度雨竜町一般会計予算概要について」は報告済みとしてよろしいか。 (異議なしの声あり)
町長	異議なしと認めます。
沖館委員	よって、報告第1号「平成31年度雨竜町一般会計予算概要について」は、報告済みといたします。 以上で、本会議において提案された議案すべての審議について終わりましたが、ほかに何かあればお伺いいたします。
沖館委員	2点ほど質問したい。現在、西野町長4年目となるが、教育大綱について「いきいきと未来に輝く教育のまちづくり」という基本的な考えのもと大綱の策定がなされているが、次期大綱についての基本理念の考えはあるか。 また、今年度コミュニティ・スクールが導入され、間もなく1年が経過しようとしているが、学校訪問した際には、学校内全体に子どもたちの交流や先生方の交流もされてとても活気があるように感じた。本制度を導入したことによることも、一つの要因かと思う。

<p>沖舘委員</p>	<p>小中連携教育が進められている中で、本町にふさわしい特色ある学校づくり、連携教育をさらに推進するためにも、小中一貫教育について、町長の考えを聞きたい。</p>
<p>町長</p>	<p>現在の教育大綱については、平成27年10月に策定して現在に至るが、私もこの4月26日に任期満了となり、次期の大綱についてのお答えは控えさせていただくが、現在の教育大綱については町の振興基本計画の教育部門に基づいて策定しており、次期についても必然的に同じようになると考えている。現在の町の振興基本計画については平成28年度に策定し、37年度までの10か年としているので、教育に関しては「明るい未来をえがく教育・文化・スポーツのまちづくり」というタイトルになっておりますので、それが大綱に入ってくるように想定している。</p> <p>また、コミュニティ・スクールと小中一貫教育の話であります。コミュニティ・スクールについては順調に進んでいると関係書類で確認している。絡んで一貫教育についても、平成27年第2回の定例議会の一般質問において、教育長が「国の動向等注視し、地域の方の声に耳を傾けながら関係機関と協議して、実施時期を十分検討したい」と答弁しており、私も同様の考えを申し上げたように記憶しています。</p> <p>今週初めに開催されました行政常任委員会においても、教育委員会より報告事項として「これからの雨竜町における義務教育」について、さらに議論を深めていきたい旨の報告がありました。その中で、平成31年度中に一貫教育についての方向性を見出し、2020年度実施に向け進めていく考えを示したところです。今後、関係機関とも十分協議し教育委員会と一体となり、一貫教育推進へ向け取り組んでいきたい。</p>
<p>沖舘委員</p>	<p>町長、学校へ講師として出向いたかと思うが、コミュニティ・スクールですので、地域の人と連携する意味でもどんどん出ていただきたいと思う。</p>
<p>町長</p>	<p>機会をいただいたときは出たいと思う。私しても子どもさんの前に出て話す機会がなかなかないので、とても貴重な経験をさせてもらった。生徒の皆さんも真剣に聞いてくださった。</p>
<p>沖舘委員</p>	<p>教員も雨竜町に住んでいないので、地域の話聞くことがないだろうし、町長自ら外で、自分のやりたいことなどを言うていただくようにしたらよい。町長以外の職員についても出ていただきたいと思う。</p>
<p>町長</p>	<p>職員が行くことはいいと思う。今回も話をもらった時、教育長が学校で講話をした方がよいのではないかと話したが、次の機会もあるのでということで行かせてもらった。</p> <p>中学生は先日議会の傍聴にも来てもらった。小学生も議会傍聴の要望もあるように聞いている。(今回日程あわず、3月定例議会における小学生の議会傍聴ないことをその場で確認)</p> <p>他にありませんか。</p>
<p>全委員</p>	<p>(なしの声あり)</p>
<p>町長</p>	<p>なければ、以上をもちまして、平成31年第1回雨竜町総合教育会議を閉会いたします。</p>